

創立100周年に向けて地域とともに歩む渡田小学校

令和8（2026）年度の学校教育(案)

かわさき教育プラン

- 【めざすもの】
 「一人ひとりが輝き、共に未来をつくる」
 【みんなと共有したい価値観】
 「一歩、踏み出す」「自分の幸せ みんなの豊かさ」
 「多様性を可能性へ」

学習指導要領「資質・能力の3つの柱」

- 知識及び技能の習得
- 思考力、判断力、表現力等の育成
- 学びに向かう力、人間性等の涵養

渡田小学校教育目標

- 目標に向かい、自分で考え進んで行動する子《やる気いっぱい》
- 思いやりのある豊かな心で接することができる子《笑顔いっぱい》
- 自分を振り返り、明るく健康な生活をおくれる子《元気いっぱい》

◆子供の合言葉◆

「渡っ子は、
 《やる気、笑顔、元気》いっぱい！」

中期学校経営目標（3～5年の目標）

| 分かる授業 個に応じた学習指導の充実 | 人権尊重教育を基盤とした 教育活動の展開 | 明るく健康で安全な生活を目指した 家庭や地域等との連携・協力 |
|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○学ぶことの楽しさや意義を実感させ、児童の資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善 ○知識・技能を活用した問題解決に必要な思考力・判断力・表現力の育成 ○教科等横断的な視点に立った教育課程の編成 | <ul style="list-style-type: none"> ○個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実 ○教員と児童の信頼関係を基盤とし、児童の心に寄り添った指導の充実 ○一人一人の教育的ニーズに応じた支援教育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ○児童の健康、安全に対する取組の推進 ○保護者や地域、近隣校等との連携・協力による児童の安心・安全のための取組の推進 ○地域に開かれた学校づくり |

短期学校経営目標（今年度の重点目標）

| | | |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○児童の学びへの意欲を育むとともに、学びから得た達成感を次の学習へつなげられるような指導と評価の一体化を意識した授業づくり ○読書をはじめとした児童の言葉の力を高める教育活動の充実 ○地域の教育力や学習環境を積極的に活用した学習活動の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ○学校が、児童が安心して過ごすことができる場所になるための取組の推進 ○児童を複数の目で見守り、チームとして支援する体制の構築 ○個に応じた入り込み指導や取り出し指導の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ○児童の心身の健康を保持するための取組の推進 ○PTA、町内会、地域教育会議、地域の寺子屋等との連携の充実 ○行政、保護者、地域と連携した学校の防災力の向上と定期的で実践的な避難訓練の実施 |
|---|--|--|

重点に係る具体的な取り組み

| | | |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○児童のやってみたい、考えたいという意欲を引き出し、友達との協働や対話などを通して、学ぶ楽しさを感じられる授業づくりに努める ○学校司書や読み聞かせボランティア、さらには保護者と連携・協力して読書の楽しさを児童に味わわせるとともに、児童が自分から本を読む姿勢を養う ○児童の興味や関心を大切に、地域などを活用した学習を推進するとともに、GIGA端末を活用して、自分の学びを深めたり、発信したりできる授業づくりを目指す ●業務改善によって生み出された時間を児童と関わったり、授業づくりに活用したりする | <ul style="list-style-type: none"> ○多様性を尊重し、自他を大切にすることを育む活動を通して、だれもが安心して過ごせる学校づくりに積極的に取り組む ○効果測定・意識調査等の計画的な実施、共生＊共育プログラムの実施などにより児童理解を一層深め、教員と児童、児童と児童間の信頼関係を育む ○個別の指導計画を作成するとともに、支援教育コーディネーターを核として情報を共有することにより、学校全体で切れ目のない適切な支援を進める | <ul style="list-style-type: none"> ○体を動かすことの楽しさ、心地よさを味わうことができる活動を日常的に実施し、体力向上につなげるとともに、養護教諭や学校栄養職員と連携して、保健指導、食育を実践する ○教職員と児童が様々な災害による最新の被害想定について学ぶ機会を作り、自分の命を自分で守る意識を高める ○学校HPの充実や配信メールの効果的な活用した情報発信を通して、開かれた学校づくりに努める ●学校評価を学校教育目標と連動させることにより、より効果的に成果と課題を把握し、次年度の計画立案に生かす |
|--|--|---|